

第 2 号様式（第 7 条関係）

犯罪被害申告書

年 月 日

旭市長

（申告者）
住 所
氏 名
電話番号

1 被害の概要

ふりがな		
犯罪被害者の氏名		
犯罪被害者の生年月日	年 月 日	
犯罪被害者の住所		
犯罪被害の発生日時	年 月 日 午前・午後 時 分頃	
犯罪被害の発生を知った日	年 月 日	
犯罪被害発生場所		
犯罪被害にかかる罪名 （判明している場合）		
犯罪被害の概要		
取扱警察署及び 被害届受理番号等	都道府県名	
	警察署名	
	受理日	年 月 日
	受理番号	

2 支給除外事由の確認

下記のとおり、支給除外事由に該当しないことを全て確認しました。

- | |
|--|
| <p>☐ 1 犯罪行為が行われた時において、犯罪被害者又は第1順位遺族と加害者との間に次の各号のいずれかに該当する関係がない。ただし、犯罪被害者が18歳未満の者を監護していた場合を除く。</p> <p>(1) 夫婦（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった場合を含む。）</p> <p>(2) 直系血族（親子については、縁組の届出をしていないが、事実上養子縁組関係と同様の事情にあった場合を含む。）</p> <p>(3) 3親等内の親族</p> <p>☐ 2 犯罪被害について、犯罪被害者又は第1順位遺族に次の各号のいずれかに該当する行為がない。</p> <p>(1) 当該犯罪行為を教唆し、又は幫助する行為</p> <p>(2) 暴行、脅迫、侮辱等当該犯罪行為を誘発する行為</p> <p>(3) 当該犯罪行為に関連する著しく不正な行為</p> <p>☐ 3 犯罪被害者又は第1順位遺族に次の各号のいずれかに該当する事由がない。</p> <p>(1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員</p> <p>(2) 当該犯罪行為を容認していたこと。</p> <p>(3) 当該犯罪行為に対する報復として、加害者又はその親族その他の加害者と密接な関係にある者の生命を害し、又は身体に重大な害を加えたこと。</p> <p>(4) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者</p> <p>(5) 加害者との関係その他の事情から判断して、見舞金を支給することが社会通念上適切でないと認められるとき。</p> |
|--|

※傷害見舞金の場合は、犯罪被害者本人のみ

3 情報提供の同意

見舞金の支給及び転居費用の助成に必要な警察その他の関係機関が保有する犯罪被害に関する事項について、旭市が照会し、提供を受けることへの同意の有無

- ☐ 同意します ☐ 同意しません